全国でトップ
炭都まつりとともに盛大な前夜祭を
早くもメーデー準備

全国にさきがけて「労働都市」大牟田では、はやくも「メーデーの歌ごえ」がわき起ろうとしている。大地評では十日十三時から第一回メーデー実行委員会をひらいて、「今年のメーデー前夜祭は大々的にやろう」「かねがね要望された〃炭都まつり〃をメーデーの日からはじめるよう市会に要求しよう」などで打合せをする

三鉱労組でも七日の平和憲法擁護春季闘争総けつ起大会や、賃金闘争、メーデーに備え職場でも、地域でも先ず労働歌を覚えてからとさかんに労働歌の練習が、時限ストなどを利用して行われている。これについて大地評蓮尾事務局長はつぎのように語つた。

ことしのメーデーは、ぜひ盛大な前夜祭としたい、いまゝで前夜祭といえば七百人か八百人が労働会館に集まつた程度だつたが今年は一万人以上が集れるよう野外でやりたい、たとえば二百人、三百人の大コーラス、野外演劇も考えている、そのためには各職場で、ぜひ今から準備にとりかゝつてもらいたいと思つて実行委員会をひらくわけだ、また五百万円の予算をかけてやつている「炭都まつり」も、メーデーとともに幕あけできるよう市議会に強く要望する

労働歌の練習　上三川鑛繰込場　下製作第二製罐

甘い経営者監督
中小企業労働者も　もつと労働問題研究を

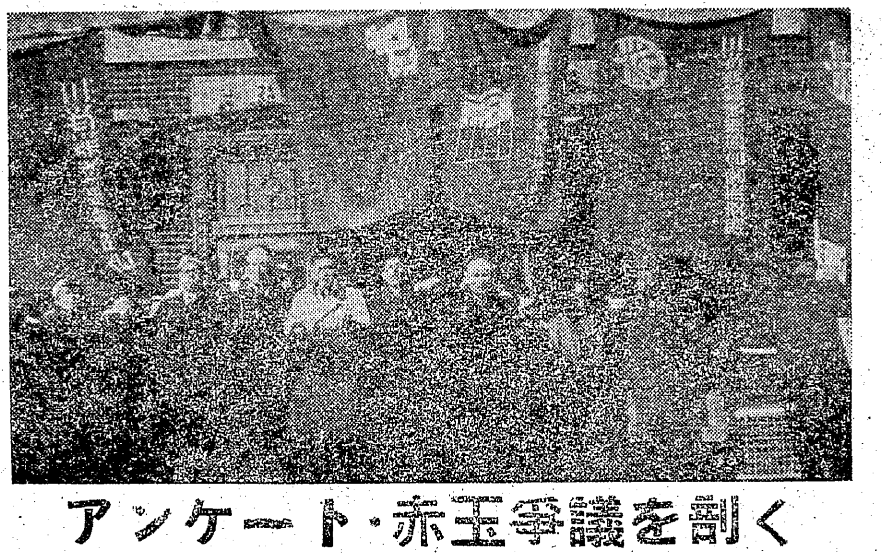
執行争議に続く赤玉争議で中小企業が如何に大資本の下に圧迫されているかが判り、労働者は二人でも三人でも団結しなくては生きられぬことを知つたが、この中小企業争議のテストケースとして赤玉争議の解決に努力された人々に次の標題の下にアンケートを試みた。

1、今次闘争の原因は何處にあつたと思われますか

2、赤玉労組を含めて中小企業の労働者に対する監督機関はどの点がルーズと思われますか

3、中小企業の労資協調の限界について

4、中小企業の労組に対する教育指導はどのようにすべきか



アンケート・赤玉争議を剖く

大地評會長　小宮市太郎

1、イ、繊維製品の市場が狭く国内競争が激化していること　ロ、経営陣のスタツフが貧弱であること。

2、イ、労政事務所に於ける組合の実態把握不十分　ロ、労働基準監督所の経営者に対する監とくが甘い。

3、イ、労資協調は労資の経営協議会を前提とする。その中から生産の協調もある。政府、独占資本、アメリカに対する抗争もする。

4、イ、労政事務所の組合幹部教育の強化　ロ、中小企業労組協議会（或は連合会）を組織し、地評の中で指導面を強化する。

労政事務所長　古賀鉄藏

1、イ、労使双方共労働問題に関して無知であつたこと、従つて労働者の組織はあるにはあつたが、何らの活動をも示していないため、その存在を認識の外に置いていた社長の権利の一方的濫用にあつた。　ロ、中小企業界の先行不安

2、イ、あまりにも多い基準法違反の追及による酷使からの保護　ロ、労働者教育が大組合の中心に偏せず、もつと中小企業労働者の教育をも直視すべきであつた。

3、イ、近代的労働関係の樹立　ロ、労使協議会の設置など民主化した機構の中で中小企業を防衛する。

4、イ、難かしい、成文では尽せない、ただ中正であつたかどうかの批判は別として、今回の赤玉争議は中小労組に対する生きた教育であつたと云うことが出来る。

大地評事務局長　蓮尾信次郎

1、「労働力」を商品以下に考え儲けがタラなければ商品を整理するように首を切つても、自分（会社）の権限だと考えている。世の中で人間が一番尊いと云う考えがなかつたところに重大な「現因」があります。

2、三年程前と昨年と、労働基準局は基準法違反の事実を摘発した。今次争議が発生してからも重な違反事実がでている。基準法の「監視者」としてのきびしい感覚を、基準監督署がもつていないことに総ての問題がある

3、会社の間違つた考えを改めさせること。このことができなければ、労資協調のために会議をもつても、労働者の犠牲増進の協調会になつてしまう。このことができれば、中小企業経営者と労働者を虐めている共通の敵に共同して闘い共同の利益を守れます。これができるかどうかです。

4、現在地評の常任は大地評一名（柳河はいない）では満足なことはできません。そこで、大地評が中心となつて大きな組合から交代で、昼休みの時間にでも出て行つて話をするとよいと思います。労政事務所は憲法の精神に即つて、正しい組合のありかたを労資相方に教育する。

三鑛勞組　花園憲一

1、イ、近代的資本家の感覚が全然なく、総てがワンマン経営でやつていた点。

2、イ、赤玉の場合問題があんなになるまで放任し、問題発生で労政事務所が乗り出した争議中の労政事務所の態度は賞讃するも事前教育がルーズだつた点　ロ、中小企業の実態を見てびつくりした事は労基法なんて全然守られてない、それを摘発しても監督署は全くノータツチであつた点。全くデタラメだ近い中お礼に伺うつもり。

3、イ、（1、項）の伴わない処に労資協調はあり得ない。労使協議会の中から生産の諸計画が打出された処に企業の発展があろう。

4、イ、赤玉の場合首切発展後組合が結成されたのが実態でまだ多くの中小企業に働く人達は低賃金と強制労働にあえぎ組合さえ結成してない処がある、それらの早急な結成指導の点　ロ、労政事務所の適切なる指導　ハ、地評及県評の早急なる機構拡大（最少限大地評の場合五名に増員する）　ニ、大組合が直接余暇を見て指導する抱擁力を持つ事。

〃オイコラ警察〃再現
警察制度改革案の意図するもの

三池の企闘のときでもそうだつたクビ切りという「生きるか死ぬか」の瀬戸際で闘つてきた兄弟三十名をデッチあげ事件で奪つたのも警察だ。岩屋でも、三菱新入七坑でも、労働者の闘争をジヤマしたのも会社のための警察である。一月二十六日の朝日新聞の声らんに「巡査が学校がえりの児童をつかまえて日記帳を調べ、学校図書の書物を検査した」事実があげられている。これは福島県だけの問題ではない、また出先の巡査の偶然の行動でもない、何か上からの全国的な命令があつてのことと思われる。今度の「警察法改正」は「秘密保護法」「教職員政治活動禁止法」や「再軍備予算」ともからみ、かつて大巾に国民の自由がうばわれ、抑圧されていた昔に押しもどす力となろう。

◇

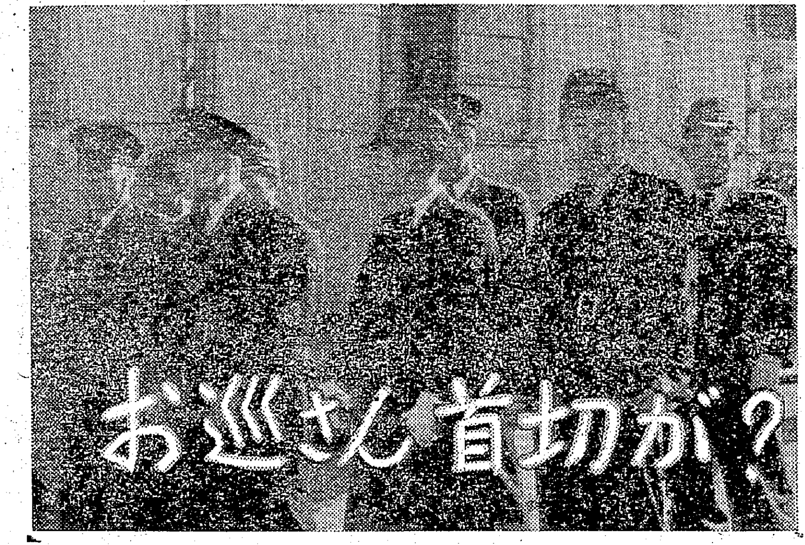
〃ボタン〃一つ押すと全国の警察官が一本の手足のように思うとおりにうごく〃これほど便利でイサギよいものはない。その昔、お米騒動の時でも組合の弾圧に大いに威力をあげ、時の権力者がこれに頼りすぎたあげく敗戦日本をつくつたシロモノである。この夢は忘れがたい権力者にとつての〃誘惑〃である。アメリカの命令で再軍備をおしすすめる吉田政府が、たかまりゆく労働者や農民、中小企業の弾圧のためには、どうしても備えつけておかねばならぬ伝家の宝刀である「知事官選」「警察制度改革案」で、お気に入りの知事をつかい、ボタン一つで十数万の忠誠を誓う番犬がうたけば枕を高くして寝られようというもの。

◇

政府の改革案をみると表面的には国警と自治警の二本立を府県一本にする人員整理案である。これだけを見ると戦前七万ぐらいだつた警察が今日では十七万にふえ、その経費五百億円というゴクつぶしに不満をもつていただけに、ついうなづきたくもなる、そこに巧みなオトシ穴があるわけだ。まず警察庁長官の任免権は内閣総理大臣がにぎり、道府県の警察長は警察庁長官の思いのままに料理できる首都の警視総監も首相が任命するだから警察のカナメ、カナメは、みな総理大臣の御意にかなつたものが占めるわけだ。なるほど総理大臣がそれらを任免するには国家公安委員会の意見をきくのだそうだが、その国家公安委員も国務大臣をすえるというのだから、公安委員の政治的中立性なんてマユツバものである。公安委員会は事実上あつてなきがごときものとなろう。

◇

これが「民を守る警察」から「政府を守る警察」になり、政府をカサにきた〃オイコラ警察〃になつていくに違いない。だが警察の数や機構におかまいなく「米をたらふく食わせろ」の要求はますますたかまつていくであろう。国民の明日への希望だけは、権力や弾圧では押しつぶし得ない。国民のカマドの火けし役になる警察よりは無能な警察の方がマシであると断言する。



焦点

共闘はこうして
職鑛両組合長の對談

これまでやるべくしてやれなかつた職鉱の共同闘争が、こんどの奮闘では見事に実現したのを機会に、職組村松組合長と鉱組宮川組合長に顔合せを願つて仲好く対談して頂いた。以下その紙上録音――。

（司会平島編集部長）

平島　これまで職鉱共闘と云う事がどうもうまく行かなかつたのについて下部から不平の声もあつたと思いますが…？

村松　職制と組合、この二面性で職員の場合特に苦労が多く、それを乗りこえてやつて行くところに結果にあらわれたものよりはるかに多くの努力が払われて来た

宮川　共闘を考える場合出発点が問題だと思う。闘争が熾烈になつてから共闘を結ぼうとしてもこれは困難な話で、執行部は執行部、現場は現場で初めから手をつないでやつて行かねばならない。その点今度は非常にうまく行つた。

平島　職員、鉱員間にトラブルが起つた場合共同の苦情処理機関と云つたようなものが考えられないでしようか？

村松　その事で特に御願いしたいのは上と下の意志疏通を十分はかつて頂きたいと云う事です。本部同志では問題ないのですが下部ではどうもしつくり行かない。

宮川　職場闘争委員会など一緒にやつて、そこで話合つて行くようにすると好いと思う。個々の問題として〃ではなく組織の問題として採り上げるように。

村松　全く同感ですね。職組の内部でもその声は高まつて居る。

平島　指令違反だとか反組合的行動など職鉱間で起つた問題の統制については？

宮川　自分の組合で起きた問題は矢張り自らの責任において自分の組合で処置するのが前提になると思う。この事が完全に行われなければ共闘はうまく行かない。

村松　私の方はまだ脱皮の過程にあり鉱組程はつきりした行き方をするまでに至つて居ない。大事な事は同じ職場で働いて居る以上どこまでも一緒にやるのだと云う気持、これが出来れば問題はないと思う。

宮川　三川、四山あたり職鉱組共同で繰込場情宣などやつて居るが、好い事だと思う。

村松　製作所の職場大会でも一緒にやり、経営者側もこれに出てくるという状景もあり非常な好成績だつた。

平島　最後に両組合長から双互の組合員に呼びかけの言葉を何か―。

村松　とに角労組の組合員の方々が現場の末端で話合い信頼してともに闘つて頂きたい。これですね

宮川　職員も労働者の立場に立つて職制上から来る板ばさみの状態をはつきり割切り（職制の混乱と云う事ではなく）同じ気持ちで現場で話合つて頂きたいと云う事を切に訴えたい。

（上）村松職組組合長　（下）宮川労組組合長

アッ子供が危ない
溺死の寸前を救助した松尾さん（港務）

通勤途中の三池港務所浜駅詰め松尾伊吉さん(四三)＝市内三池新町＝は、さる一日午後二時半ごろ市内大正橋近くで、大牟田川のドロ中に上半身うずまつてチツ息寸前の市内栄町二丁目大阪証券社員今村文夫さん(三九)の長男運ちやん(六)を発見、作業衣のまま川にとびこんで助け出した。

「わたしのドロンコ姿にびつくりした同僚たちが『おそかつたなあどげんしたか』『いや、ちよつと川の中に入つたんだ』『ひるの日中に川の中に入るなんてケンカでもしたのか』と理由をやかましく問うので、ついつつみきれず話しちやつたのです。人間として当然なことをしたまでですよ。生命の恩人だなんて人によろこばれこんなにうれしいことはありません」と謙そんしながら松尾さんは当時の模様をつぎのように語つた。

一日午後二時半ごろ二番方で、いつものように出勤し大正橋附近を通行中、よくみると大牟田川のドロの中に上半身うずまつている子供らしい姿を発見、びつくりして飛びこみ、ぐつと子供の足をにぎつた、生きていると安心するとともに、自分もドロだらけになつて子供のワキの下をかかえ上げた。附近の人にきいても、あんまりヨゴれているので誰もわからない、顔見知りの小学四年生の案内で今村さんに運ちやんを手渡したわけです。五、六人の人が名前とか、謝礼とかいわれたんですが、とにかく会社に早く行かにやと大急ぎで辞去したのです。知らぬうちにポケットに謝礼袋が入つていたのを後で知り、中原係員から返金してもらうよう頼んだわけです。」

今村文夫さんは感謝のおももちで次のように語つた。

全くあの時は驚きました。もうなんとお礼をいつてよいのか、ただ〳〵ありがたいと思う念で一ぱいです。あの時は運がヤキイモを買いに出かけた後のことで堤防にでもあがつて遊んでいたところをあやまつて落ちたものとおもいます。

なお市警大正町派出所では調査後ただちに人命救助表彰方を具申した。

特賞二〇万円
・・・労金の割増金附定期
御申込は早く・・・・

福労金大牟田支所
（市電四四一四番）

福岡県労働金庫は先年十一月より「一口五〇〇円」特賞二〇万円の割増金付定期預金を応募して居たが、大牟田地区割当額一・〇九二万円の内二月三日の大牟田地区各単組の応募状況は次の通りである

三染一四〇万円、電化四二万円、三煉七〇万円、東圧七七万円、執行労組、帝国酸素、合成は割当の応募が完了した。

三鉱労組も各支部に受付け窓口を設け割増定期の応募を行い組合員及び家族の多数の応募を希望して居る。

割増定期預金の目的は与託金の二月末返済後の充当資金及二十九年度に於ける資金運用面の隘路を打開し、我等の闘争に商し動く者の経済的文化的向上を図るものであり、私達の日常の零細な貯蓄が集まりこれが強大な力となつて働く者の地位の向上を目指すもので、応募期間は二月十五日迄になつて居る。なお不明の点は各支部及炭婦協役員、分会長にお問合せ下さい。

取扱は大牟田市曙町笹林公園労働会館内

首切闘争について
＝感想＝（入選一席）

川野マサヨ（三川）

百十余日と口でこそ短いのだが、白いブラウスからオーバー着る頃までの長い〳〵闘争で終つた。然し闘争期間中は長いとも短いとも思わなかつた。只勝抜くまでと決心はそれ一筋だつた。静かに振返つて闘争の足跡を眺める時、夏から秋、そして冬が訪れるまで色々の出来事を思つて長い闘争だつたなあと感慨無量の面持ちである。今では白い鉢巻も懐しい。この鉢巻も私と共によく闘つてくれた、励ましてくれた。闘争が激しくなればなる程鉢巻は私の体から手提げ袋の中から離れなかつた。

そして家庭を空ける日も多くなつた。デモ、坐込み、けつ起大会役員会と慌しい忙しい日が続いた主人には迷惑のかけ続けですまないと思う事のみだつたが、夕方遅くなつても御飯の仕度が間に合はないでも何一つ不平も文句も云わないでくれた。

デモで遅く帰つても「きつかつたろう」と却つてやさしくねぎらわれると、一日の疲れもどこえやら、うれしいやらすまないやらで目頭が熱くなる。云わず語らずの中に雰気相通ずるところが夫婦の間には通つているのだろう。

勝つまでは〳〵と口にはしないがお互いの心と心にしつかり結びついていた。それでこそ私は家庭を留守に充分闘うことが出来たのだ。主人のこの暖い愛情と理解がなかつたなら私はあれ程真剣に夢中に闘うことは出来なかつたかも知れない。主人の協力には頭が下るのみだ。子供達も又一生懸命だつた。御飯炊きにお掃除によく手伝つてくれた。私が何故家を空けるかもよくわかつてくれて淋しく留守番もしてくれた。それだけに首切反対闘争の勝利になると一家中の喜びも又格別で我事のように喜んでくれた。闘争の中から私達に教えてくれたのは、職場だけの闘争でなく家庭も組合も一丸となつて闘争しなければならないという事であつた。又女一人々々は弱い、けれども女も一度団結すれば男子に負けない底力とねばり強さを持つている事を痛切に教えられた。一つ々々の団結したものが更に総合されて一つのかたまつた団結となつて闘う時は如何なる困難に遭遇しようとも、必ず貫き通すという事もこの闘争を通じて感じた一つである。今後起きてくるであろうあらゆる闘争において私達の今回の生きた尊い体験を生かして、職場と家庭とは常に離れる事のない密接な関係を持つているのだから、共同の態勢を強化して共に闘つて行かねばならぬ。

激闘に備えて猛訓練

こんどの賃金闘争は、炭労一本で三井の首切闘争の戦術を検討し、高度化したものであつて、鉱業連盟もこの戦術の防止と反攻を企図して、賃金カツト、ロツク・アウト、ピケ破りなどを準備している

吾々は過去の首切闘争の経験から今度の賃金闘争はなまやさしいものではないことが予想されると同時に徹底的に闘わねばならない。三川でも、宮浦でも各支部でも二月三日以来、ピケ破りに備え、不当介入する官権や暴力団を編成して、ピケの訓練が熱心になされている。

編集部では、九州炭労指導オルグの明九労の左迫間事務局長を三川に案内したところ、この訓練に相遇したので当時の模様を掲載する

一番方は一時間五十分時限ストで一番入車は十二時にあがつて来る「オイ労働歌の練習だ」職場闘争委員長が指導し、執行部が協力する。酒井支部長が「今日はピケ訓練をやる」たちまち合唱団はピケを敷く、執行部と集合に遅れた分会員の人々が、暴力団や警官になつて、ピケ隊に突入する「ワツシヨイ、ワツショイ」押して来るピケ破りをウンともちこたえてかけ声がかゝる「ワツショイ、ワツショイ」ほんものそつくりで山ノ上の警官隊との押し合いが眼に浮ぶ「ピーツ」状況終りだ。お互いに「オイツ、痛かつたぞ」「すまんすまん」繰返し繰返し昇降者はこの訓練をつづける。同行の左迫間氏は指導オルグでなく、指導を受けに来たオルグだと感心していた。

写真説明
上＝ピケ訓練での押し合い
下＝ピケの手はこのように組む

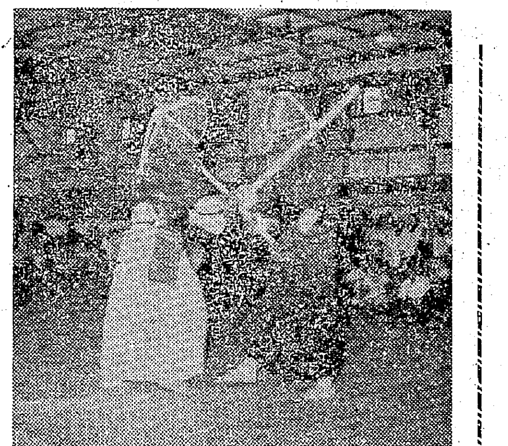
行程五一・七粁
三鉱駅伝コース決る

今年度三鉱スポーツ行事のトップをうけたまわつて、各鉱所対抗駅伝競走が来る廿一日華々しく挙行されるが、そのコースはこんど次のように変更され、五日コースめぐりが行われた。

△第一区＝市立病院前―白金―県営―荒尾警察前―市役所裏（六粁）
△第二区＝市役所裏―国道―有明―二造跡―緑ケ丘事務所前（六・七粁）
△第三区＝事務所前―三中―助丸―倉掛―桜町―一部橋（四・七粁）
第四区＝一部橋―上官―東新町―堂面川（四・八粁）
△第五区＝堂面川―渡瀬（六・四粁）
△第六区＝渡瀬―瀬高（六・七粁）
△第七区＝瀬高―渡瀬
△第八区＝渡瀬―市立病院前（九・七粁）

総行程五一・七粁

製作所が優勝
個人は古庄三段堂々の制覇
三鑛劍道大會終る



三鉱剣道大会が廿一日午前九時から本所体育館で挙行された。団体は総当り戦で得点（一勝一点）を競つた結果三作、宮浦が何れも四点で最高点だつたが組合せで三作が宮浦に勝つて居るので三作が一位に決定、以下宮浦、三川（三点）が入賞、個人戦は団体戦で四勝以上した選手九人によりトーナメントで覇が争われた結果、優勝戦で古庄三段が田中五段を破り（面胴で二―〇）制覇、次の四氏が入賞した。

一位	三段	古庄盛寅（宮）
二位	五段	田中三作（作）
三位	五段	宮崎憲一（作）
〃	二段	河口節夫（宮）

〃理髪料金改訂〃

昭和二十九年二月一日より、大牟田市理容師組合と左記による金額で再契約致しましたので、組合発行の割引券を遠慮なく御利用下さい。

	◎改訂料金	◎一般料金
調髪	九五円	一五〇円
丸刈	八〇円	一三〇円
顔剃	六〇円	九〇円

赤玉労組が
感謝の聲明

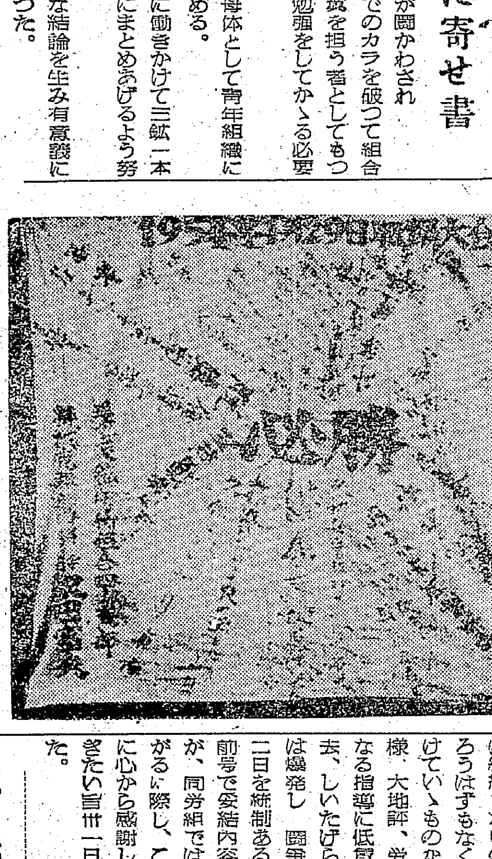
労働争議に飛行機まで使つて組合切崩しの挙に出たワンマン経営者赤玉被服株式会社々長田中清一氏の元旦の抜打的工場閉鎖全員解雇と云う無謀な態度に対し、組合側は組織もないので、組合意識等あろうはずもなく全く何から手をつ[illegible]

火の玉となれ!!
現場から中闘に寄せ書

四山支部の坑内機械、充てん[illegible]闘争委員会では、去る廿九日開かれた職場大会で賃金闘争[illegible]非でもかち取るため中闘に[illegible]寄せ書を行い、このほど[illegible]を経て東京に送られた。横縦四尺の赤旗の中央に必勝[illegible]し、これをめぐつて

「玉砕戦術は戒めよ」
「脱落者を出すな」
「俺達の闘魂の腰を折るな」
「指導部よ火の玉となれ」
「闘争の運転を誤るな」

等々たくましい闘魂がぶちまけられて居り、これを受取つた中闘を感激させるに充分である。



合同懇談会
宮浦、三川行動隊

宮浦、三川両支部の行動隊が[illegible]して去る十七日午後一時から宮浦支部会議室で懇談会がひらかれ席上行動隊今後の行き方について一、[illegible]

保安遵守・合理生活
標語募集
〆切は二月十日

今次賃金闘争を[illegible]為に、左記要領で標語を募集しますので奮つて御投稿願います。

記

一、保安遵守に関するもの
二、合理生活に関するもの

◇応募資格＝組合員並に家族（所属、職名、番号、氏名、家族は世帯主の氏名を記入の事）
◇応募句数＝各々一人三句以内（用紙は随意）
◇賞品＝入選＝各々入選十名、佳作十名
◇〆切期日＝昭和二十九年二月十日、午後四時迄（各支部宛）
◇発表＝執行部で選定し発表

社宅婦人講座
正田助教授を招いて

社宅婦人講座は九大助教授正田誠一氏を講師に[illegible]「労働者の生活と賃金」と題して[illegible]毎日午前十時から正午まで大谷社宅クラブで行われた。